

KAGAWA ART TRAVEL✈

島・街・里のアート旅



芸どころ讃岐の風景美と アートをめぐる旅

「讃芸」と記されたこともある「讃岐」は、盆踊りにも歌われる「芸どころ」。
その昔からアートを讃えてきた土地柄です。島・街・里の歴史の美や風景に、
その時代の現代アートが融合し、讃岐ならではの美を詩っています。



草間彌生「赤かぼちゃ」2006年 直島・宮浦港緑地

かがやくけん、かがわけん。

香川県

「ベネッセアートサイト直島」は瀬戸内海の直島、豊島、犬島を舞台に株式会社ベネッセホールディングス、公益財団法人 福武財団が展開しているアート活動の総称です。

直島のご案内



地中美術館 photo:藤塚光政

地中美術館

「自然と人間を考える場所」として、2004年に設立された美術館。直島の南側に位置し、館内にはクロード・モネ、ジェームズ・タレル、ウォルター・デマリアの作品が安藤忠雄設計の建物に恒久設置されている。アーティストと建築家が互いに構想をぶつけ合いながら作り上げたこの美術館は、建物全体が巨大なサイトスペシフィック・ワークといえる。



「タイム/タイムレス/ノータイム」ウォルター・デマリア photo:Michael Kellough

〒761-3110 香川県香川郡直島町3449-1 Tel:087-892-3755

開館時間/10:00~18:00(最終入館17:00)3月1日~9月30日

10:00~17:00(最終入館16:00)10月1日~2月末日

休館日/月曜日 ※ただし、祝日の場合開館、翌日休館。メンテナンス休館あり。

鑑賞料/2,060円(15歳以下無料) 10,300円(年間パスポート)

交通案内/「宮浦港」バス停から、直島町営バス つつじ荘方面に乗り

「つつじ荘」バス停で場内シャトルバスに乗り換え「地中美術館」バス停で下車(約30分)



家プロジェクト「角屋」 photo:上野別宏



「角屋」宮島達男「Sea of Time'98」 photo:上野別宏

〒761-3110 香川県香川郡直島町本村地区

Tel:087-892-3223(ベネッセハウス)

開館時間/10:00 ~ 16:30

休館日/月曜日 ※ただし、祝日の場合開館、翌日休館

鑑賞料/1,030円(「きんざ」を除く6軒共通、15歳以下無料)

※「きんざ」のみ要予約。別途510円

交通案内/「宮浦港」バス停から、直島町営バス つつじ荘方面に乗り、

「農協前」バス停で下車(約10分)



ベネッセハウス・ミュージアム



ベネッセハウス photo:山本 耕

〒761-3110 香川県香川郡直島町琴弾地 Tel:087-892-3223

開館時間/8:00~21:00(最終入館20:00)年中無休

鑑賞料/1,030円(15歳以下無料)

交通案内/「宮浦港」バス停から、直島町営バス つつじ荘方面に乗り、

場内シャトルバスに乗り換え「ベネッセハウス ミュージアム」バス停で下車(約20分)

李禹煥美術館

アーティスト・李禹煥(リュウファン)と建築家・安藤忠雄のコラボレーションによる美術館。海と山に囲まれた谷間に、ひっそりと位置するこの美術館は、自然と建物と作品とが呼応しながら、モノにあふれる社会の中で、我々の原点を見つめ、静かに思索する時間を与えてくれる。



李禹煥美術館 photo:山本 耕

〒761-3110 香川県香川郡直島町字倉浦1390 Tel:087-892-3754(福武財団)

開館時間/10:00~18:00(最終入館17:30)3月1日~9月30日

10:00~17:00(最終入館16:30)10月1日~2月末日

休館日/月曜日 ※ただし、祝日の場合開館、翌日休館。メンテナンス休館あり。

鑑賞料/1,030円(15歳以下無料) 5,100円(年間パスポート)

交通案内/「宮浦港」バス停から、直島町営バス つつじ荘方面に乗り

「つつじ荘」バス停で場内シャトルバスに乗り換え「李禹煥美術館」バス停で下車(約25分)

ANDO MUSEUM

築約100年の古民家を生かした安藤忠雄のミュージアム。木とコンクリート、光と闇一対立する要素が重なり合う、小さいながらも安藤建築の粋が集まった空間です。ここでは自身の活動や直島の歴史を伝える写真やスケッチ、模型を展示。建物と空間そのものが作品といえます。

〒761-3110 香川県香川郡直島町736-2

Tel:087-892-3754(福武財団)

開館時間/10:00~16:30(最終入館16:00)

休館日/月曜日 ※ただし、祝日の場合開館、翌日休館。

メンテナンス休館あり。

鑑賞料/510円(15歳以下無料)

交通案内/「宮浦港」バス停から、直島町営バス

つつじ荘方面に乗り、

「農協前」バス停で下車、(約10分)徒歩約3分

家プロジェクト

現在も生活が営まれる地域で、点在していた古い家屋などを改修し、アーティストが家の空間そのものを作品化した。生活空間の中で繰り広げられる来島者と住民との出会いは、さまざまなエピソードを生み出している。



直島銭湯「I♡湯」大竹伸朗 photo:渡邊 修

直島銭湯「I♡湯」

アーティスト・大竹伸朗が手がける実際に入浴できる美術施設。外装・内装はもちろん、浴槽、風呂絵、モザイク画、トイレの陶器にいたるまで大竹伸朗の世界が反映されており、直島島民の活力源であり、また国内外から訪れるお客様と直島島民との交流の場にもなっている。

〒761-3110 香川県香川郡直島町2252-2 Tel:087-892-2626(NPO法人直島町観光協会)

開館時間/平日14:00~21:00、土・日曜日・祝日10:00~21:00(最終入湯20:30)

休館日/毎週月曜日 ※ただし、祝日の場合開館、翌日休館。メンテナンス休館あり。

料金/510円(直島島民は310円)、15歳以下210円(3歳未満無料)

交通案内/宮浦港から徒歩約2分

豊島のご案内



豊島美術館 photo:森川昇

豊島美術館

瀬戸内海を望む豊島唐櫃(からと)の小高い丘にあるアーティスト・内藤礼と建築家・西沢立衛による美術館。休耕田となっていた棚田を地元住民とともに再生させ、その広大な敷地の一角に、水滴のような形をした建物が据えられている。広さ40×60m、最高高さ4.5mの空間に柱が1本もないコンクリート・シェル構造で、天井にある2箇所の開口部から、周囲の風、音、光を内部に直接取り込み、自然と建物が呼応する有機的な空間。内部空間では、一日を通して「泉」が誕生する。その風景は、季節の移り変わりや時間の流れとともに、無限の表情を伝える。



「母型」内藤礼 photo:森川昇

〒761-4662 香川県小豆郡土庄町豊島唐櫃607 Tel:0879-68-3555

開館時間/10:00~17:00(最終入館16:30)/3月1日~9月30日

10:00~16:00(最終入館15:30)/10月1日~2月末日

休館日/火曜日(3月1日~11月30日)、火曜日から木曜日(12月1日~2月末日)

※ただし祝日の場合は開館、翌日休館。※ただし月曜日が祝日の場合は、火曜日開館、翌水曜日休館。

鑑賞料/1,540円(15歳以下無料)

交通案内/「家浦港」バス停から、土庄町営シャトルバス 唐櫃港方面に乗車
「美術館前」バス停で下車(約15分)



豊島横尾館 photo:山本料

豊島横尾館

豊島の集落にある民家を改修してつくられた、アーティスト・横尾忠則の美術館。既存の建物の配置を活かした「母屋」「倉」「納屋」の3つの空間に平面作品11点を展示しているほか、石庭と池、円塔内で展開するインスタレーション作品が、敷地全体に広がります。生と死を同時に想起させる哲学的な場といえます。

〒761-4661 香川県小豆郡土庄町豊島家浦2359

開館時間/10:00~17:00(最終入館16:30)/3月1日~9月30日

10:00~16:00(最終入館15:30)/10月1日~2月末日

休館日/火曜日(3月1日~11月30日)、火曜日から木曜日(12月1日~2月末日)

※ただし祝日の場合は開館、翌日休館。※ただし月曜日が祝日の場合は、火曜日開館、翌水曜日休館。

鑑賞料/¥510(15歳以下無料)

交通案内/家浦港から徒歩約5分



クリスチャン・ボルタンスキー「心臓音のアーカイブ」 photo:久家靖秀

心臓音のアーカイブ

これまでクリスチャン・ボルタンスキーが集めた世界中の人々の心臓音を恒久的に保存し、それらの心臓音を聴くことができる小さな美術館。施設内には「ハートルーム」「レコーディングルーム」「リスニングルーム」の3つの部屋で構成されている。

〒761-4662 香川県小豆郡土庄町豊島唐櫃2801-1 Tel:0879-68-3555(豊島美術館)

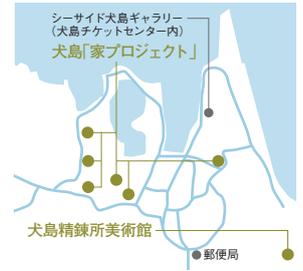
開館時間/10:00~17:00(3月1日~9月30日)、10:00~16:00(10月1日~2月末日)

休館日/火曜日(3月1日~11月30日まで)、火曜日から木曜日(12月1日~2月末日)

※ただし祝日の場合は開館、翌日休館。※ただし月曜日が祝日の場合は、火曜日開館、翌水曜日休館。

鑑賞料/510円(15歳以下無料)、心臓音の登録料1,540円(CDブックレット付)

交通案内/「唐櫃港」から徒歩約15分



犬島のご案内



犬島精錬所美術館 photo:阿野太一

犬島精錬所美術館

犬島に残る銅製錬所の遺構を保存・再生した美術館。「在るものを活かし、無いものを創る」というコンセプトのもとに造られており、「遺産、建築、アート、環境」による新たな地域創造のモデルとして、注目されている。

〒704-8153 岡山県岡山市東区犬島327-5 Tel:086-947-1112

開館時間/10:00~16:30(最終入館16:00)

休館日/火曜日(3月1日~11月30日)、火曜日から木曜日(12月1日~2月末日)

※ただし祝日の場合は開館、翌日休館。※ただし月曜日が祝日の場合は、火曜日開館、翌水曜日休館。

鑑賞料/2,060円(15歳以下無料)※犬島「家プロジェクト」、シーサイド犬島ギャラリーと共通



犬島「家プロジェクト」F部 photo:Takashi Homma

犬島「家プロジェクト」

2008年4月に開館した犬島精錬所美術館に続き、犬島の集落の中に展開するプロジェクト。アーティスト・ディレクター・長谷川祐子、建築家・妹島和世が島の風景を変容・活性化させる5つのギャラリーと「石職人の家跡」を展開。

〒704-8153 岡山県岡山市東区犬島327-5 Tel:086-947-1112

開館時間/10:00~16:30(最終入館16:00)

休館日/火曜日(3月1日~11月30日)、火曜日から木曜日(12月1日~2月末日)

※ただし祝日の場合は開館、翌日休館。※ただし月曜日が祝日の場合は、火曜日開館、翌水曜日休館。

鑑賞料/2,060円(15歳以下無料)※犬島精錬所美術館、シーサイド犬島ギャラリーと共通

02 ART SETOUCHI

アートを巡る旅 母なる海へ

美しく穏やかな瀬戸内海は、古くから日本列島の大動脈でもありました。現代アートが伝える海と島のもつ魅力は、訪れた人々に、私たちの来し方を振り返らせ、将来の展望を与えてくれました。瀬戸内国際芸術祭の出会いは、島の人々だけでなく、多くの人に元気を与え、海と人との永いつながりを感じさせてくれました。ART SETOUCHIは、3年ごとに開催される「瀬戸内国際芸術祭」とその間に取り組まれるさまざまな活動の総称です。



男木島 「男木島の魂」ジャウメ・ブレンサ photo:中村脩



女木島 「カモメの駐車場」木村崇人 photo:中村脩



伊吹島 「トイレの家」石井大五 photo:高橋公人



小豆島 「太陽の飾り物」チェ・ジョンファ (崔正化) photo:高橋公人



本島 「Vertrek「出航」」石井章 photo:高橋公人



高松港 「Liminal Air-core」大巻伸嗣 photo:高橋公人



大島 「青空水族館」田島征三 photo:高橋公人



高見島 「海のテラス」野村正人 photo:高橋公人



沙弥島 「階層・地層・層」ターニャ・ブレミンガー photo:高橋公人



栗島 「瀬戸内海底探査船美術館プロジェクト」日比野克彦 photo:高橋公人



宇野港 「舟底の記憶」小沢敦志 photo:高橋公人

香川県立東山魁夷せとうち美術館



外観 photo:北橋俊浩



東山魁夷「月光」1998



ラウンジからの景観



香川県とゆかりのある東山画伯の作品を寄贈いただいたことを機に誕生した小さな県立美術館。それだけにどこか温かさを感じる空間に、珠玉の作品が光る。展示室の階段を下りれば、その色を魁夷が提唱したという瀬戸大橋と青い海が広がっている。設計は建築家・谷口吉生。



ちよっこ一服

Museum Cafe

東山魁夷せとうち美術館
カフェ なぎさ

Tel:0877-44-1333

海に面した大きなガラス張りの空間。瀬戸内の大パノラマを眺望しながら、ゆっくりと過ごせる。抹茶や「あまも」という美術館限定の和菓子などのメニューがある。

<http://www.pref.kagawa.lg.jp/higashiyama/>
〒762-0066 香川県坂出市沙弥島字南通224-13

Tel:0877-44-1333

開館時間/9:00~17:00(最終入館16:30)

休館日/月曜日(祝日の場合は翌日火曜日が休館)・年末年始

※展示準備期間の休館があり、詳しくはお問い合わせを。

ゴールデンウィーク、夏休み期間は月曜も開館。

入館料/一般300円(特別展開催時は別料金)

高校生以下、満65歳以上の方は無料(証明書等の提示が必要)

交通案内/JR坂出駅、JR宇多津駅から車で、それぞれ約20分。

坂出北ICから車で約10分。坂出ICから車で約20分。

※坂出北ICは四国側からの退出不可。



Architect

谷口 吉生 Yoshio Taniguchi

1960年慶応義塾大学工学部卒業、1964年ハーバード大学建築学科卒業、建築学修士。丹下健三・都市・建築設計研究所勤務を経て、谷口建築設計研究所設立。「猪熊弦一郎現代美術館」「東山魁夷せとうち美術館」は彼の作品。

丸亀市猪熊弦一郎現代美術館

多感な少年時代を丸亀市で過ごした猪熊画伯自らがプロデュースし、谷口吉生が設計した美術館。エントランスの彫刻や壁画に吸い寄せられるようになっていけば、そこに猪熊ワールドが広がる。意欲的な現代アートの企画展も多く、ワークショップなどが盛んに行われている。

<http://mimoca.org>

〒763-0022 香川県丸亀市浜町80-1 Tel:0877-24-7755

開館時間/10:00~18:00(最終入館17:30)

休館日/年末(12月25日~31日)

※展示替え期間は休館となるため、詳しくはお問い合わせを。

観覧料/常設展は一般300円、大学生200円(企画展は展覧会ごとにその都度定める)

高校生以下または18歳未満、丸亀市内に住む65歳以上、

各種障害者手帳をお持ちの方は無料

交通案内/JR丸亀駅下車徒歩約1分。坂出北ICから車で約10分。

坂出IC、普通寺ICからそれぞれ車で約15分。



photo:Tadasu Yamamoto



※坂出北ICは四国側からの退出不可。



photo:kazuhiro Fujita



photo:Tadasu Yamamoto

ちよっこ一服

Museum Cafe

カフェレストMIMOCA

Tel:0877-22-2340

くつろげるミュージアムカフェであり、CDや雑貨を扱うセレクトショップも併設している。鑑賞後にすすめだが、展示室を通らずとも行ける。



「水呑みの虎」円山応挙

書院

金刀比羅宮境内の文化ゾーンを代表するかつての客殿。萬治年間(1658-1660)の建築と伝えられる入母屋造、檜皮葺の表書院(重要文化財)をはじめ、同年代に建てられたとされる奥書院(重要文化財)がある。表書院は、江戸時代の代表的な画家、円山応挙の障壁画(重要文化財)で知られる。奥書院には、近年特に評価が高まる伊藤若冲の「百花図」や岸岱の障壁画が残されている。普段一般公開は表書院のみ。



高橋由一館

金刀比羅宮には日本近代洋画の先駆者、高橋由一の油絵が27点もあり、高橋由一館ではすべてが常設展示されている。明治11年、金刀比羅宮に最初に奉獻された「二見ヶ浦」や琴陵有常宮司の肖像画、興味深い明治の風景画や質感表現の優れた「豆腐」や「鱈梅花」など数多くの静物画などを見ることができる。



「鱈」高橋由一



「豆腐」高橋由一



ちよつぱ
一服

<http://www.konpira.or.jp>

〒766-8501 香川県仲多度郡琴平町892-1

Tel: 0877-75-2121

開館時間/8:30~17:00(最終入館は16:30)

休館日/無休 ※企画展などのため予告なく閉館することがある。

入館料

高橋由一館/一般800円、高・大生400円、中学生以下無料

表書院/一般800円、高・大生400円、中学生以下無料

交通案内/普通寺ICから車で約15分。坂出ICから車で約30分。

(車は町営駐車場などへ)町営駐車場やJR琴平駅から

高橋由一館までは徒歩約40分。



カフェ&レストラン「神椿」

かみつばき

Tel: 0877-73-0202

旧茶所の後に境内の斜面を利用して造られた新茶所。有田焼の壁画が印象的。1階はカフェ、地下1階はレストラン(夜は予約制)、ともに資生堂バーラーが担当している。



偉大なる彫刻家から「未来への贈り物」 イサム・ノグチ庭園美術館

20世紀を代表する彫刻家イサム・ノグチは、1969年良質の花崗岩・庵治石の産地である高松市牟礼にアトリエを構え、以降20年間N.Y.を往来しながら制作に励んだ。この静謐な地が現在、美術館として公開され、未完成作品を含む約150点余の彫刻作品、住居や展示蔵、彫刻としてつくられた庭園など、イサム・ノグチ生前の雰囲気そのままに鑑賞できる。

<http://www.isamunoguchi.or.jp>

〒761-0121 香川県高松市牟礼町牟礼3519

Tel: 087-870-1500

開館時間/火・木・土曜日

見学時間/10:00・13:00・15:00の1日3回(約1時間・定員有り)

入館方法/予約制(往復葉書にて日時指定で申し込み)

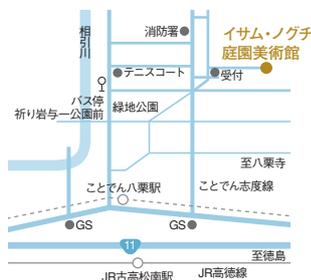
休館日/月・水・金・日曜日(夏期8月13日~16日/冬期12月26日~1月5日 ※年度により変更有り)

入館料/一般・大学生2,160円/高校生1,080円/中学生以下無料

公開施設/アトリエ(石壁サークル内)・展示蔵・イサム家周辺・彫刻庭園

交通案内/岡山・愛媛方面から高松中央ICから車で約20分。

淡路・徳島方面から志度ICまたは、さぬき三木ICから車で約15分。



Topics

イサム・ノグチの遊具彫刻 「プレイスカルプチュア」

「子どもたちにも直接、大地と向き合ってもらいたい」とイサム・ノグチが思いを託した遊具彫刻の数々。庭園美術館のすぐ近く「山椒山公園」には、シーソーと「プレイスカルプチュア」があり、気軽に遊ぶことができる。



07

木との対話から生まれた家具たち ジョージ ナカシマ記念館

木と対話しながら家具づくりを行ったジョージ ナカシマ。彼の作品に囲まれていると、まるで森の中にいるような心地さえてくる。その生き方や哲学を伝えたいと、1964年以来、世界で唯一ナカシマがその技術を認め、ともに家具製作をしてきた桜製作所が記念館を設立。ここでは、建築家時代の仕事という貴重な初期の椅子をはじめ、ナカシマの仕事場で使われている机など約60点の作品がある。アメリカ、ニューホープの工房以外では、ジョージ ナカシマの作品を鑑賞できる世界で無二の場所。



1階には、ナカシマの著書や桜製作所のオリジナルの小物が並ぶギャラリーショップ、ナカシマデザインの椅子を体感できるスペースがあり、購入の相談にも応じてくれる。



<http://www.sakurashop.co.jp/nakashima>

〒761-0122 香川県高松市牟礼町大町1132-1

Tel:087-870-1020

開館時間/10:00~17:00(最終入館は16:30) ※ただしグループは要予約。

休館日/日曜日・祝日・夏期・年末年始

入館料/一般500円、小・中学生200円

交通案内/JR高松駅から車で約25分。志度ICから車で約10分。

高松中央ICから車で約20分。高松空港から車で約40分。

ことでん塩屋駅から徒歩約5分。ことでん八栗新道から徒歩約8分。

JR牟礼駅から徒歩約8分。



08

自然と調和した小さな美術館 四国村ギャラリー



四国村(四国民家博物館)は、源平の古戦場として知られる屋島山麓に、江戸から大正にかけての四国各地の古建築を移築復原している野外博物館。その敷地内に、安藤忠雄により設計された小さな美術館「四国村ギャラリー」がある。常設展示では絵画や彫刻、ガラスなど幅広い美術品の数々を堪能でき、美術館のバルコニーからは、立地を活かして造成された水景庭園とバラ園を眼下に望むことができる。

<http://www.shikokumura.or.jp>

〒761-0112 香川県高松市屋島中町91

Tel:087-843-3111

開館時間/9:00~17:00(入村は17:00まで)4月~10月

9:00~16:30(入村は16:30まで)11月~3月

休館日/年中無休

入館料/一般1,000円、高校生600円、小・中学生450円

※入村券も含むセット料金

※企画展開催時は別途

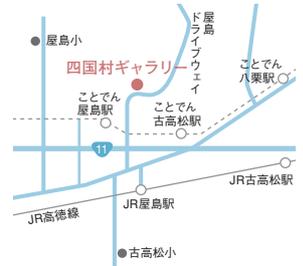
交通案内/JR高松駅から車で約20分。

JR屋島駅から徒歩約10分。

ことでん屋島駅から徒歩約5分。

高松中央ICから車で約15分。

高松空港から車で約40分。



09

伝統美を持つ現代建築 香川県庁舎東館

建築界のノーベル賞といわれるプリツカー賞を日本人で初めて受賞した建築家・丹下健三の代表作。日本の伝統とモダニズムを融合させた、建築史上最も重要な作品のひとつと評価されており、その価値は竣工後50年を過ぎた今でも色あせていない。伝統的な木造建築を彷彿とさせる建物でありながら、打ち放しコンクリートがモダンな印象を与えるその外観や、それまで主流だった権威的な庁舎のイメージを覆す、市民に開かれた空間が特徴。人々を自然に迎入れるピロティやガラス張りの開放的なロビーは、戦後の庁舎建築の手本となった。1階の壁画は猪熊弦一郎が手がけている。ロビーには、県庁舎の見どころを紹介する建築ギャラリーがオープンした。



<http://www.pref.kagawa.lg.jp/zaisankeiei/higashikan>

〒760-8570 香川県高松市番町4-1-10 Tel:087-831-1111

開庁時間/8:30~17:15 閉庁日/土・日曜日祝日・年末年始

交通案内/JR高松駅から徒歩約20分。ことでん瓦町駅から徒歩約10分。

高松中央ICから車で約20分。高松西ICから車で約20分。

Architect

丹下 健三
Kenzo Tange

建築家、都市計画家。代表作に広島平和記念公園、国立代々木競技場、東京カテドラル聖マリア大聖堂、大阪万国博覧会マスタープランなど。生涯で31カ国に330を超える都市・建築を設計した。横文彦、神谷宏治、磯崎新、谷口吉生ら優れた人材を輩出するなど、日本の建築界に多大な影響を与えた。香川県立体育館も彼の作品。

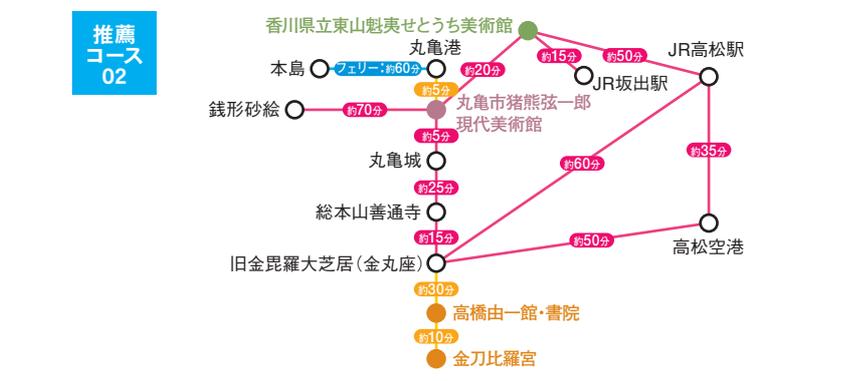
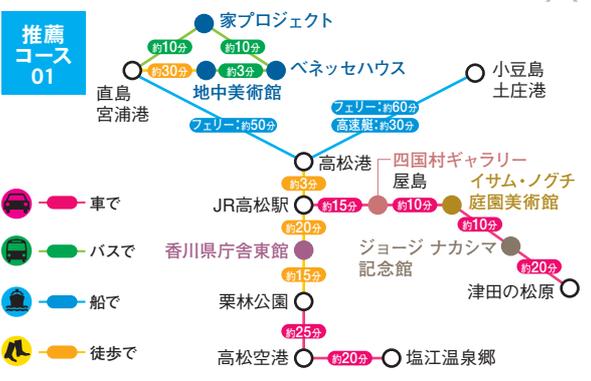
観光 & アート MAP



- [交通のお問い合わせ]
- JR線: JR四国高松駅鉄道案内所 Tel:087-825-1702
 - ことん線: 高松琴平電気鉄道 Tel:087-863-7300
 - 坂出駅~県立東山魁夷せとうち美術館間
市営バス: 坂出市観光協会 Tel:0877-45-1122
 - 乗り合いタクシー: スミレタクシー Tel:0877-44-2000
 - 高松~直島間フェリー、高速艇: 四国汽船 Tel:087-821-5100
 - 直島町営バス: 直島町観光協会 Tel:087-892-2299
 - 高松~直島~豊島間高速艇: 豊島フェリー Tel:087-851-4491

KAGAWA MAP

モデルコース紹介 Travel Course



※主要の国道・県道等を利用した時間で、所要時間は混雑状態などによって変わる場合があります。



香川県のアクセス



- 航空機を利用した場合
 - 東京(羽田) = (約1時間20分) = 高松
 - 東京(成田) = (約1時間30分) = 高松
 - ソウル = (約1時間50分) = 高松
 - 上海 = (約1時間50分) = 高松
 - 台北 = (約1時間50分) = 高松
 - JRを利用した場合
 - 東京 = (約3時間30分) = 岡山 = (約1時間) = 高松
 - 新大阪 = (約50分) = 岡山 = (約1時間) = 高松
 - 博多 = (約1時間50分) = 岡山 = (約1時間) = 高松
 - 高松空港からのアクセス
 - 高松空港 = (約45分) = JR高松駅
 - ことんバス TEL:087-821-3033
 - 高松空港 = (約50分) = JR琴平駅
 - 琴空バス TEL:0877-75-2920
 - 高松空港 = (約1時間10分) = JR丸亀駅
 - 高松空港 = (約50分) = JR坂出駅
 - 琴参バス TEL:0877-22-9191
 - フェリーを利用した場合
 - 神戸 = (約4時間) = 高松
 - 高速バスを利用した場合
 - 東京 = (約10時間30分) = 高松
 - 名古屋 = (約7時間) = 高松
 - 京都 = (約3時間40分) = 高松
 - 大阪 = (約3時間30分) = 高松
 - 神戸 = (約3時間) = 高松
 - 広島 = (約3時間20分) = 高松
 - 福岡 = (約10時間) = 高松
- ◎ JR高松駅 TEL:087-825-1702
◎ ジャンボフェリー Tel:078-327-3333(神戸)
◎ ジェイアール四国バス Tel:087-825-1657
◎ 四国高速バス Tel:087-881-8419
◎ フットバス Tel:087-874-7777
- ※交通アクセスはおおよその時間です。
混雑状態などによって変わります。
※坂出北ICは四国側から下りられません。

お問い合わせ先
(公社)香川県観光協会
〒760-8570 高松市番町4丁目1-10 Tel:087-832-3377

香川せとうちアート観光圏
香川県公式観光サイト「うどん県旅ネット」 [うどん県旅ネット](#) [検索](#)

●掲載された情報は、2016年3月現在のものであり、変更される場合があります。